



鈴木 直志

◆ 中小企業経営論演習 ◆

演習では、まず、修士論文を作成するために必要な知識と方法を学習する。そのうえで、クラス内の各自の発表⇒ディスカッション⇒研究のブラッシュアップを繰り返しながら、研究計画書作成⇒中間報告会発表⇒修士論文完成の着実なステップを踏んだ、効率的かつ充実した研究過程を重視している。

受講者については、中小企業経営に関係する内容であれば幅広く指導する。研究テーマは、読み手(=主に研究者)がワクワクするようなもので、自身の研究のモチベーションが高まるものであることを第一に考えてほしい。また同時に、自身のアドバンテージ(業務経験や人脈など)を最大限に活用し、論文の主張の実証性が確保できることも心がけてほしい。